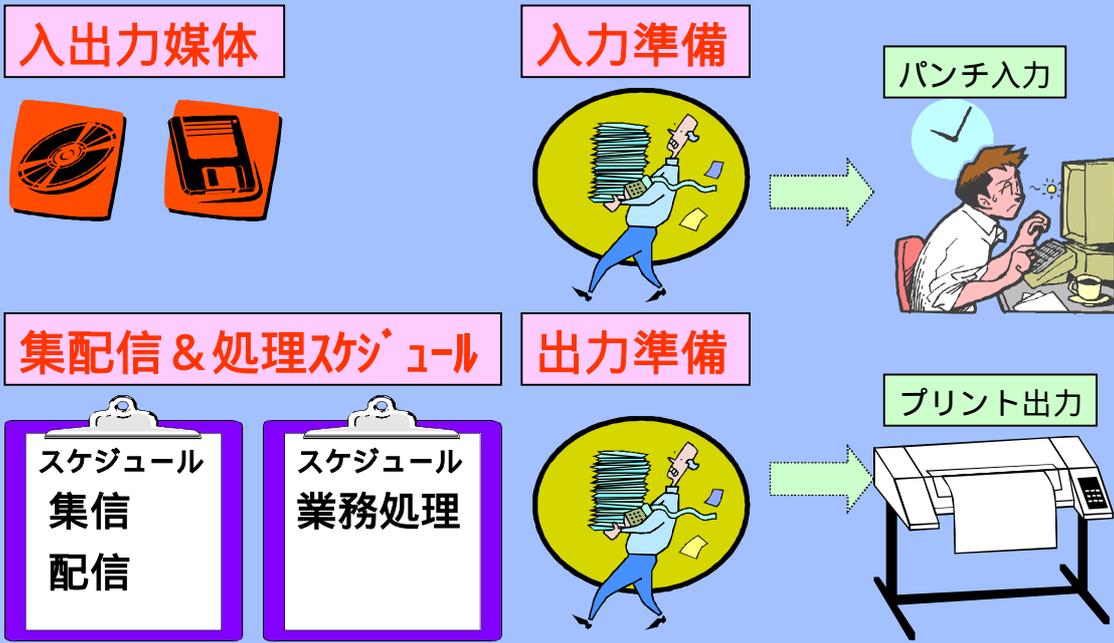


業務処理の入力、出力媒体と予定



業務の準備

業務の準備としては、入力の準備、処理の準備、出力の準備があります。

入力の準備

入力の準備には、次のものが挙げられます。これら、全ての到着スケジュールは、ホストでの業務処理スケジュールが、基本になります。

ユーザー部署より原紙伝票でデータが送られてくるもの => 社内外のパンチ部署（会社）でデータに変換（パンチ）してもらいます。ここでも、ホストでの業務処理スケジュールより原紙伝票が、いつまでに集められなければならないか、又いつパンチに出していつ引き取るかが決定されます。

ユーザー部署より記録媒体（MT、FPD等）で、データが送られてくるもの。

ユーザー部署よりファイル転送で、データが送られてくるもの。

ユーザー部署よりオンラインで、データが送られてくるもの。

処理の準備

処理の準備には、スケジュールに間違いがないか、前後関係にミスは無いかなどのチェックが挙げられます。

出力の準備

出力の準備には、スケジュールされた業務で使用される媒体（MT、FPD、用紙）の準備が挙げられます。

問合せの準備

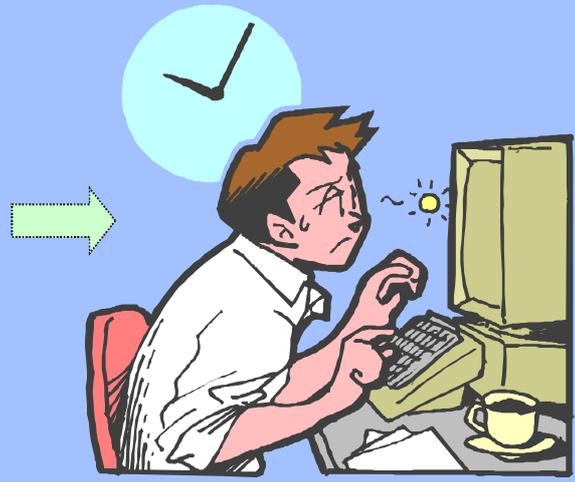
問合せの準備には、上述全ての準備スケジュール（いつどの部署から（に）届く（着く）のか）が返答できるようにします。

センターへ伝票類を集め一括入力(パンチ)

伝票の収集仕分け



パンチ入力



原紙伝票のパンチ

紙で送られてきたデータ(原紙伝票)は、データ使用日迄にコンピュータが処理できるデータに変換が必要です。この変換のことをパンチといいます。パンチされたデータは、RJEでホストへ送られたり、MTやFPD等の記録媒体に待避されてホスト入力とします。1つの原票のパンチが完了した場合パンチャーは、オペレータ等に完了報告をします。

パンチ部門では、複数のパンチャーがいます。また、複数の原票も発生する場合があります。これを効率よく処理する為に原票を一定の単位(例えば100枚)に分けたバッチを作成します。

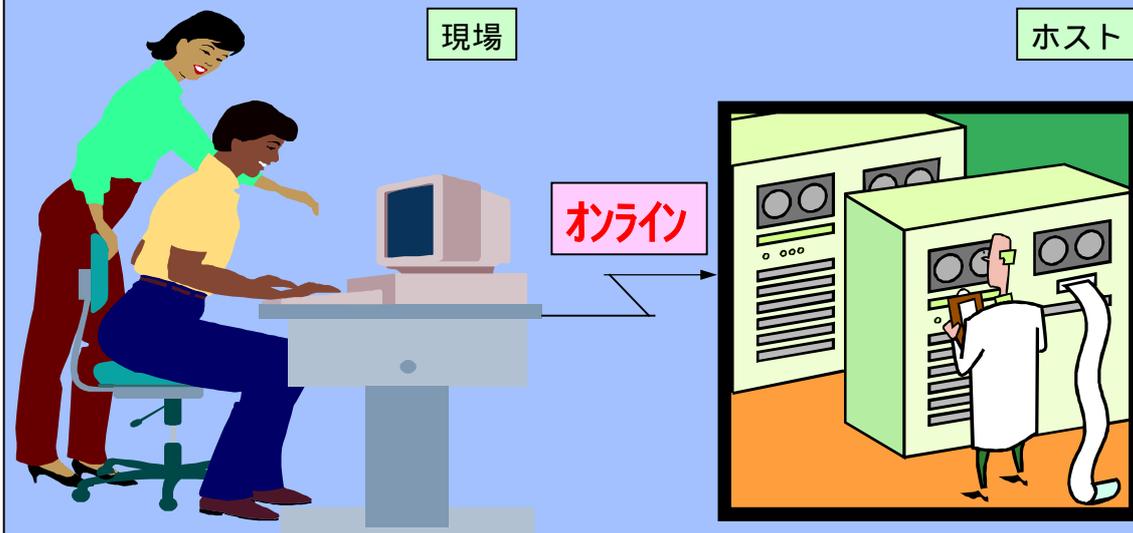
このバッチ単位にパンチャーは、バッチ枚数をパンチ前に入力し、自動的に処理した枚数(実枚数)に漏れが無いかのチェックをします。

また、入力データにパンチミスが発生しないように、データ自体に11チェック、7チェック等の技法や2重にパンチしミスが無いかの確認(ベリファイ)も行います。

パンチ…もともとデータは、紙テープや紙のカードに穴を空ける(パンチ)ことで、データを作成していました。この影響で今日でもデータを作成することをパンチと言います。

現場での個別伝票類の(オンライン)入力

オンライン端末でのデータ入力



オンライン入力

オンライン入力では、ホストコンピュータ上で、業務（オンライン）が稼動しユーザは、回線（専用線、公衆回線、パケット）を経由し端末で入力をします。

次に、カーディーラーでの車の契約を例に説明しましょう。

契約の際に必要な項目は、車に関する項目（車種、色、オプション、契約場所、担当者、金額）、契約者に関する項目（住所、氏名、年齢、電話番号）等が挙げられます。

オンラインで入力する場合は、車に関する項目を項目選択で選べるように設計できます。選択入力した後に即時に契約書を出力しお客様に関する項目を記入して頂きます。記入後、手書き部分を再度オンライン入力します。

これで、在庫の確認と、在庫が無ければ製造へ情報が回り、車の発注、在庫確認、製造依頼、契約全てが完了します。

この様に、オンライン入力は、実際に入力する項目が減少し、またデータの入力から処理迄の時間の短縮につながります。

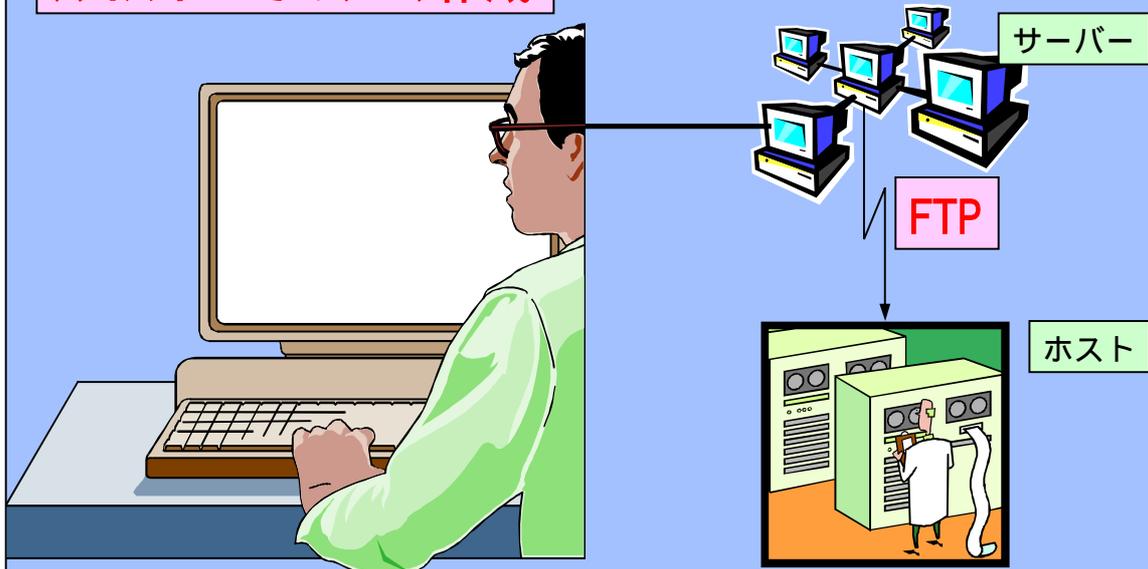
専用線…定額で企業専用で使用できる回線です。使用料は高額になりますが、回線品質、伝送速度は速くなります。

公衆回線…一般の電話回線です。回線費用は安価ですが、回線の品質が、他の回線に比べ不安定です。

パケット…従量制の回線で、データをパケットと言われる単位で送受信します。比較的少量のデータをやり取りする場合に有効です。

現場での直接データ作成後のFTP

クライアントPCでのデータ作成



クライアントPCでの入力

オンライン入力では、ホストコンピュータが稼働していないと、データの入力が不可能です。

全ての業務をオンライン入力で行うとすると、ホストコンピュータの能力を上げたり24時間365日の稼働が必要になったりします。このままでは、運用コスト、開発コストの上昇を招きます。しかし現場では、必要なときにデータを入力したいという要求が多数見受けられます。

この中には、ホストから一部のデータをクライアント側に送り必要なときに消し込むか、クライアント側で単にデータを作成するだけという作業も多くあります。このような作業は、ホストとオンラインで接続せずにクライアント側でデータ作成後、決められた日時にFTP(ファイル転送)にてデータをホストに転送する方法をとることが可能です。